

受講料
無料

事例研究「多文化共生社会における災害対応」

近年の事例を踏まえて、外国人の方が災害時に直面する課題や、支援の担い手としての外国人への視点など、災害時における対応をお話しいたします。

外国人と日本人が共に安心して暮らし、活躍できる東京の実現に向けて、災害時の対応を一緒に考えていきましょう!

日時 令和元年 **10月4日(金)** 19:00~20:30 (受付開始:18:30~)

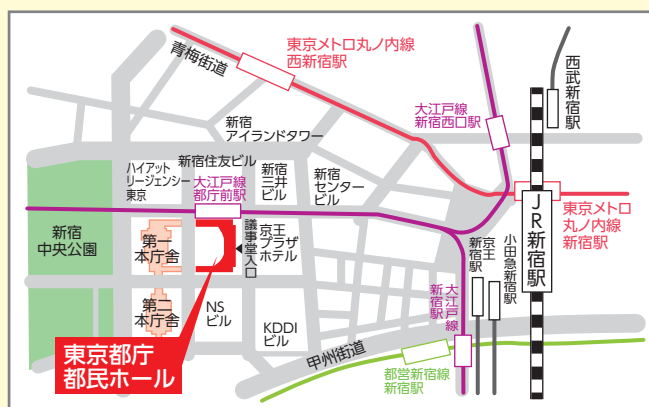
場所 **東京都庁 都民ホール**

対象 **都内在住・在勤・在学の方
東京都(防災)語学ボランティアの方**

定員 **280名**

申込締切 **9月30日(月) 17:00**

※定員に達し次第、申込終了とさせていただきます。



申込方法

下記サイト(東京共同電子申請・届出サービス)からお申込みください。
「東京共同電子申請・届出サービス」 → 「講座・催し等申込」



パソコン

<http://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/navi/procInfo.do?govCode=13000&procCode=10011819>



スマートフォン

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/uketsuke/sform.do?id=1566528254202>



講師紹介

一般財団法人ダイバーシティ研究所

代表理事 **田村 太郎 氏**

兵庫県出身。高校卒業後、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、南米などを旅する。在日フィリピン人向けレンタルビデオ店で勤務することで、日本で暮らす外国人の課題を知る。阪神・淡路大震災直後に外国人被災者へ情報を提供する「外国人地震情報センター」の設立に参加。

1997年から7年間「多文化共生センター」代表を務め、その後、自治体による多文化共生の推進に携わる。2007年に「ダイバーシティ研究所」を設立し代表に。東日本大震災後は、内閣官房に発足した「震災ボランティア連携室」で企画官に就任。復興庁設置後は上席政策調査官、現在は復興推進参与として東北復興にも携わる。

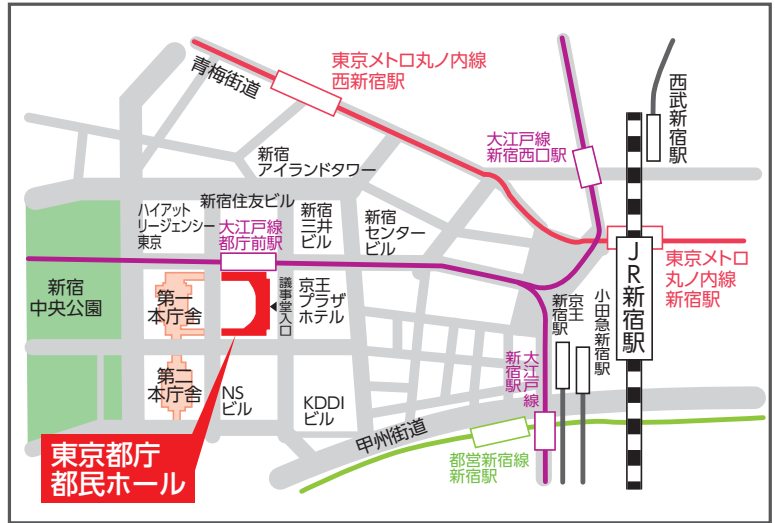


東京都庁 都民ホール(東京都議会議事堂1階)

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

アクセス

- ・「JR新宿駅」(西口から徒歩約10分)
- ・都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」A3出口から徒歩1分
- ・新宿駅西口(地下バスのりば)から都営バス
又は京王バス(都庁循環)「都議会議事堂」下車



18:00以降の入退場は、北側出入口のみとなりますのでご注意ください。

【注意事項】

- 当日、メディアの取材・撮影が入る可能性があります。
- 本研修の様子(写真)は記録やPR等のため、東京都公式ホームページ・チラシなどに使用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

東京都防災(語学)ボランティアについて

東京都では、災害時に外国人の方を支援するため、通訳・翻訳にご協力いただけるボランティアを随時募集しています。

詳しくは、下記サイトをご覧ください。

http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/chiiki_tabunka/tabunka/tabunkasuishin/0000000145.html



東京都 防災 語ボラ

検索

お問合せ

東京都 生活文化局 都民生活部 地域活動推進課
 東京都防災(語学)ボランティア担当
 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
 TEL: 03-5388-3056(直通)
 E-mail: S8000224@section.metro.tokyo.jp

